



～ 今月の特集 ～

防災の取り組み

つるせ西だより

第213号 (6月号) 2026.6.1

編集：鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行：富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬 3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 83

今年度も開催されるミニ鉄道運転会

4月から「むさし野緑地公園」でミニ鉄道が開催されました。このミニ鉄道は、昭和55年国際児童年を記念して、緑の保全も兼ねて市民の憩いの場「緑の散歩道」にミニ鉄道レールを施設しミニ電気機関車を走らせました。

日本の自治体初の本格的ミニ鉄道公園として始まったそうです。運転会は「富士見市ミニ鉄道クラブ」と市の協働事業として実施し、ミニ鉄道クラブの会員が運営を行っています。

ミニ鉄道クラブは、市がこの記念事業を始めるときに、鉄道模型の愛好者らを募集して運行管理や運営をお願いしたのが始まりです。運行を始めて46年の歴史があり、今では子どもの時に遊んだ人が親となり、自分の子どもを連れてくる人もいます。開催案内や参加方法、機関車などの情報については、市のホームページをご覧ください。

(撮影・文／笠原)



みんな仲良く出発進行！

まちびとウォッチング③

おもちゃクリニックふじみ

代表 丸山 和明 さん
まるやま かずあき

大切なおもちゃ、また一緒に遊べるようにお手伝いします。「おもちゃクリニックふじみ」は、原則第4日曜日の午後に、鶴瀬西交流センターなどで活動しているボランティア団体です。

平成13年の誕生以来、地域のみなさんの大切なおもちゃを見守り続けてきました。現在は、平均年齢76歳の元気な仲間たち(男性7人、女性2人)でのんびり活動しています。最近新しいメンバーも加わり、ますます賑やかになりました。

私たちの幸せは、動かなくなったおもちゃが「元氣」を取り戻したとき、お子さんやご家族がパツと明るい表情になる瞬間です。その温かなひとときが、何よりの宝物です。

いま私たちは、活動をもっと広めることと、技術を伝えていくことを大切にしています。もし「昔、電気関係の仕事をしていたよ」「おもちゃを直すのが好き」という方がいらっしゃれば、ぜひ仲間になりませんか？

センターに詳しいスケジュールを掲示しています。思い出の詰まったおもちゃを持って気軽にお立ち寄りください。おもちゃとみなさんに会えるのを楽しみに待っています。



大切なおもちゃを治療中の会員